

近ちか
鉄てつ

小野澤繁雄

外階段のある家をみる少しして二世帯住宅に思っていたりぬ

その一つひょうたん型の中州には突き刺さっているタイヤが一つ

数駅を乗りあわせして小学生ら竹沢駅で下りてしまぬ

人の名のようにもみえる永田駅ホーム乗り降りにも人の数なし

しりあいの駅員なるややりとりに羽生行きに羽生まで乗るといふ人

子の足に足袋の記憶も行田駅ぎよた今あますなく田渡る光

羽生駅を下りてするまち歩きこと異にして住む土地映す高校生ら

側面は「おけ川へ三り」道しるべ馬頭観音高さあるもの

犬がすることのようなを人がして犬が見守るすすきくさはら

百穴の坂くだりつつ体験は馬に乗る子ら県民の日に